

1 学校教育目標							
<p>○小中一貫教育共通目標……ふるさとを愛し、ふるさとの人々からも愛される子どもたちの育成 【自分をつくる】【仲間をつくる】【未来をつくる】</p> <p>○学校教育目標……学ぶ力と判断力を身につけた、思いやりのある、心身ともにたくましい児童の育成</p> <p>ねさず ニコニコ笑顔 (思いやりの心をもち、笑顔を絶やさない子) キラキラ輝く (自分のよさや、持ち味を十分に発揮できる子) グングン伸びる (困難にくじけず、新しいことに挑戦し成長していく子)</p> <p>○中・長期目標…施設一体型小・中一貫教育校の設立に向けた9年間を見通したカリキュラム及び校内体制の完成と試行及び改善</p>							
2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)							
<p>本校は、次年度小中一貫教育校開校に向けて、これまで作成したカリキュラムや各種教育活動等の計画を整理し、実際に学校教育が円滑に実施できるように必要なものを精選・構築していく最終年度としての大きな役割を担っている。それと同時に、通常の学校運営も粛々と行い、学校教育目標達成のために必要な教育活動を計画的に実施していくことも重要となる。</p> <p>本校の児童は、明るく素直でやる気になれば大きなパワーを発揮することができるが、学力面での二極化や、あいさつなど望ましい生活習慣が定着しにくく規範意識が低い面等が課題としてあげられる。児童の学校満足度を上げるには、学級・学年経営の安定化や、学習力を身につけさせるようなわかりやすい実践的な授業を充実させること、児童個人と集団としての成長・変容を自覚できる取組を推進することである。様々な課題を少しずつ解決しながら、自己肯定感を向上させるために、互いを認め合い成功体験を積み重ねていくことがさらなる必要となる。また、小中一貫教育をコミュニティ・スクールや地域教育ネットの仕組みを生かしながら推進していくために、小中連携、小中連携だけでなく、家庭や地域との連携及び協働を充実させることも必要となる。そして、本中学校区の柱となる、キャリア教育をカリキュラムの中心において、小中の学びのつながりを明らかにし、意図的な試行を行うことによって、内容の充実と効果的な指導方法を確立させていく必要がある。さらに、多忙な日常ではあるが、キャリアステージに応じた教職員の資質向上と、働き方改革における業務改善についてもさらに推進していく必要がある。</p>							
3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題							
<p>①安定した学級における学習力の定着と学力の向上(学び)</p> <p>○岩国授業スタンダードに基づく、言語活動、振り返りの確実な実施 ○家庭学習の手引き等を活用した家庭学習の習慣化 ○自分の世界を広げる読書推進</p> <p>②楽しく安心して過ごすことのできる学校生活の創造(こころ)</p> <p>○一人ひとりの違いを認め合う温かい人間関係の構築 ○成功体験の積み重ねによる自己肯定感の向上 ○他者を意識した行動規範の確立 ○自分から挨拶、だまて掃除、時間を守る</p> <p>③健康を増進させ持続力を培う望ましい生活習慣の形成(からだ)</p> <p>○基本的な生活習慣の定着と食育の推進 ○「早ね・早起き・朝ごはん」の励行 ○体育的活動や外遊びをととした望ましい運動習慣の形成</p> <p>④開かれた学校づくりと小中一貫教育の推進(つながり)</p> <p>○地域と連携した「キャリア教育」の推進 ○地域との交流、地域への貢献を踏まえた学習の場の工夫 ○小中及び小中連携の充実と、小中一貫教育に向けたカリキュラムの試行と改善</p> <p>⑤キャリアステージに応じた教職員の資質向上と働き方改革</p> <p>○初任研・6年次研・中堅教諭等資質向上研修・専門研修などの機会を活用した人材育成の推進 ○業務内容の精選と時間外勤務時間の縮減</p>							
4 自己評価				5 学校関係者評価			
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	取り組み状況および成果・課題	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等
学習指導(学び)	学習力の定着	・9年間を見通した家庭学習カリキュラムを活用し、習慣化を図る。 ・学習規律指導プランを活用し、小中一貫した指導を行う。	4: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.5以上 3: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.2 2: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.9 1: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.6以下	家庭学習は、保護者が2.6と課題のある結果が見られる。また、学習規律は児童が3.3に比べ、教職員は2.8と意識に差がある結果となっている。今後は、自主学習ノートコンテストなどを活用し、児童の意識を高めるとともに、保護者に家庭学習の意図を伝え協力して進めていく。また、学習規律の規律や必要性を児童に伝え、意識の改善を図るよう努める。	2	9年間を見通した家庭学習カリキュラムや自主学習ノートコンテスト等を活用して、定着を促したが課題がある。学習規律については、授業前黙想など少しずつ定着が見られている。今後、保護者、児童の意識の向上のために継続的に取組状況の把握をしていく。	・家庭学習の推進については、家庭の協力が不可欠である。PTA総会等、保護者が多く集まる場を利用して周知・啓発していくことも大切である。 ・キャリア教育の視点から大きな夢をもつことやどこでも使える力を付けることが大切である。そこに焦点をあてている学校の取組は評価できる。
	学力向上に向けた基礎的・汎用的能力の育成	東中学校区におけるキャリア教育の基礎的・汎用的能力を意図した指導計画、授業づくりを行い、学力向上を図る。	4: 教職員アンケート結果3.5以上 3: 教職員アンケート結果3.2 2: 教職員アンケート結果2.9 1: 教職員アンケート結果2.6以下	中学校区の研修会や校内研修でもキャリア教育を中心とした内容の研修を実施し、授業改善への意識は回答でも3.7と前期より0.2上がり、高まりが見られる。しかし、キャリア教育の視点については3.0と課題がある。今後は、研修のさらなる充実を図るとともに、どんな力を身につけたいかを中心とした授業研修会を開催して意識化を図る。	3	キャリア教育の資質・能力を育てる視点からの授業改善や指導計画づくりは、教職員の意識向上につながっており、学力向上にもつながってきたと言える。今後は、試行的に行ってきた指導計画等の見直しをさらに図り、学力向上に生かしていく。	
	きめ細かな指導体制の構築	岩国スタンダードを基盤とし、個別指導等を適切に実施し、当該学年の学習内容の定着を図る。	4: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.5以上 3: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.2 2: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.9 1: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.6以下	学校は、分ける授業づくりに努め、一人ひとりの学習状況に応じて適宜個別指導を行うなど学習内容の定着に努めている。児童と保護者の肯定的な回答がともに3.5と高い結果になっており、きめ細かな指導の充実が図れていると言える。今後は、ICTの活用を充実させるなどさらに分かる授業づくりを進めていく。	4	授業改善を図ったことにより、子どもたちが分かる喜びを味わえる授業づくりが進んできた。また、個別指導ができる指導体制の構築により、学習内容の定着を図ることができた。今後は、ICTの活用を充実させるなどさらに分かる授業づくりを進めていく。	
生徒指導(こころ)	温かい人間関係の構築	温かい学級経営を基盤として、学校生活における自己肯定感の醸成を図る。	4: 児童・保護者アンケート結果3.5以上 3: 児童・保護者アンケート結果3.2 2: 児童・保護者アンケート結果2.9 1: 児童・保護者アンケート結果2.6以下	学級経営においては、一人ひとりのよさを伸ばすための言葉かけや場面づくり、友達との人間関係づくりを重視し、互いが認め合える雰囲気をつくる指導をしている。児童は、友達と仲良くしている、自分にはよいところがあるという項目が3.7、3.6と高いことから、自己肯定感が高まっていると言える。今後は温かい人間関係を基盤とした学級経営に努める。	4	学級活動の時間や学校生活の様々な場面において、児童一人ひとりが自分のよいところに気付き、互いのよさを認め合える学級経営に努めた。今後は、相手の立場を尊重した態度の育成をめざして、学級経営の充実を図っていく。	・あいさつは、まず地域の大人がしっかり見せてやるのが大切である。教職員も含めた大人から子どもたちにしっかりとあいさつをしていくように声をかける。 ・大きい声でのあいさつが大切である。しっかりと声を出してやることに意味があると思う。そうなるように大人全員で見守っていく。
	他者を意識した行動規範の育成	他者と関わり合いながら、あいさつや時間を守る等の礼儀、規範意識の高揚を図る。	4: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.5以上 3: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.2 2: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.9 1: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.6以下	礼儀や規範意識については、教職員は2.7と十分ではないと感じているが、児童は3.4、保護者は3.5と十分であると考えている。挨拶は、自分から挨拶する児童が少ない状況であるので、生徒指導目標の重点化を図るなどの取組を充実していく必要がある。また、規範意識についても、全教職員がルールを守る指導を徹底していく必要がある。	3	あいさつ等や場に応じた言葉遣いなどの礼儀や決まりを守る規範意識には、やや課題が見られた。あいさつ運動や校外学習の機会を利用するなど、行動の意義について児童に伝えていく必要がある。今後は、小中合同で生徒指導を行っていくことで指導の徹底を図る。	
健康に関する指導(からだ)	望ましい運動習慣の形成	体力向上指導プランの活用や積極的な外遊びや生活指導を系統的・継続的にを行い、児童への意識化を図る。	4: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.5以上 3: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.2 2: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.9 1: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.6以下	9年間を通じたカリキュラムの修正や試行を繰り返しながら取り組みを進めてきた。結果は、全体の平均が3.0と課題のあるものとなっている。今後は、体力向上に向けた各種取組をからたの部会を中心に実施し、児童の意識を高めるとともに、長縄とびの奨励などを実施していくことによりその改善を図ることができるよう努める。	2	外遊びについては課題はあるものの体育科の学習の中で体力向上に向けた取組を進めてきた。また、体力向上指導プランを試行しながら、児童への意識化を図った。今後は、体育科の学習や行事を中心として体力向上に加えて運動習慣を身につけていくよう指導の充実を図る。	・体力向上については、授業の始まりにストレッチをするなどの時間を全校でつづけていくことが大切ではないか。 ・体力づくりは、大人から場の提供をしていくことも必要ではないか。関係機関に働きかけて公園等の施設で自由に遊べるようにすることも必要ではないか。
	基本的な生活習慣の確立	早寝、早起き、朝ごはんの奨励や系統的な食育や生活指導を通じて、基本的な生活習慣の確立を図る。	4: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.5以上 3: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.2 2: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.9 1: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.6以下	基本的な生活習慣については、食育や保健指導などを通じて、家庭への啓発などもしっかり行っている。全体の評価の平均は3.2とその成果を感じることができた。引き続き学年に応じて継続的に指導していくとともに、児童が自分のこととして感じることができるよう、学校生活全般を通じて指導の充実を図る。	3	保健だよりや計画的な保健指導において、児童への啓発に努め、成果が表れてきたと言える。しかし生活習慣については、課題のある側面もある。今後は、児童が自分から意識して改善できるような指導の充実を図る。	
開かれた学校づくり(つながり)	キャリア教育を柱として地域と連携した学習機会の充実	キャリア教育を柱としたカリキュラムに家庭・地域と連携した学習活動の明確化を行う。	4: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.5以上 3: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.2 2: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.9 1: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.6以下	地域・家庭と連携した学習は、カリキュラムの中にも位置づけ意識しているところである。保護者、児童は3.4、3.3という結果だが、教職員は2.7と課題がみられる。今後は、地域ボランティアをさらに充実させるとともに、キャリア教育カリキュラムに地域連携のイメージを明確に示すことができるよう努めていく。	3	総合的な学習の時間のカリキュラムを具体化し、地域との連携を明確にした学習活動を実施してきた。また、学習ボランティアの活用も進んできた。今後は、再度各教科や行事との関連を見直し、児童にとって効果のあるカリキュラムになるようにしていく。	・校内にある企業と連携し職場見学を行うなどの工夫をするなどよいのではないかと。 ・地域への定住を図るためには、地元への就職も進めていく必要がある。そこにつながる取組、地域を好きになるための取組をしていくように。
	社会に開かれた教育課程の実現に向けた小中一貫教育の推進	小中一貫カリキュラムの試行と修正を行い、家庭・地域等への周知を図る。	4: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.5以上 3: 教職員・児童・保護者アンケート結果3.2 2: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.9 1: 教職員・児童・保護者アンケート結果2.6以下	小中学校で校務分掌を揃え、部会ごとにカリキュラムの作成や修正に取り組んできた。9年間の学びを意識した小中一貫教育の意義の家庭や地域への周知についての平均が3.2と後期に大幅な上昇が見られた。今年度進めてきた周知活動が充実してきたこと、地域の期待が高まってきていることを踏まえ周知に努める。	3	小中学校が協働して、カリキュラムの試行・修正、新しい物の作成に取り組んで進んできた。また、たよりや学校からの説明により、家庭、地域、児童への周知を図ることができた。今後は、具体的な内容について周知していく機会を設けるように努める。	
人材育成・働き方改革	キャリアステージに応じた人材育成の促進	キャリアステージに応じた研修機会を捉え、ミニ研修及びユニット型研修を行い、それぞれの役割の意識化を図る。	4: 教職員アンケート結果3.5以上 3: 教職員アンケート結果3.2 2: 教職員アンケート結果2.9 1: 教職員アンケート結果2.6以下	キャリアステージに応じた人材育成は、教職員の年齢のバランスがよいため、ベテラン、ミドル、若手が連携して、研修を行ってきた。教職員の評価は3.0と伸び悩み、今後も連携した研修に取り組むとともに、教職員面談で自己のキャリアステージの目標を意識するように働きかけを行う。	2	様々な研修の機会や一人1授業などの機会を捉え、ベテランやミドルが若手に指導する機会を設けるなど自分の役割を意識するように努めてきた。今後は、キャリアステージが意識できるような声かけを行い、意識を高めていく。	・忙しい学校現場の状況はよく分かる。忙しいよい教育に繋がらないので、教員を増やすべきではないか。 ・PTAも学校の状況を共有し、現状を理解できるように説明していくことが必要ではないか。
	効率的な働き方への意識化	業務内容の精選を行うとともにタイムマネジメントについての意識の高揚を図る。	4: 教職員アンケート結果3.5以上 3: 教職員アンケート結果3.2 2: 教職員アンケート結果2.9 1: 教職員アンケート結果2.6以下	働き方改革における教職員の意識改革は、なかなか進んでおらず、教職員の評価は2.3と課題のある結果となっている。今後は、教職員全体で業務改善のために取り組む内容を考え、主体的に実行できる方法を考えていく。さらに、会議時間の縮小などには引き続き取り組んでいくように努める。	1	働き方改革への意識は、まだ課題が見られる状況であるが、会議の終了時間を意識するなど、個々に取組が見られるようになってきた。今後は、学校全体として意識するとともに、業務の見直しを進めていく。	
6 学校評価総括(取組の成果と課題)							
<p>成果としては、一つ目に、教員の資質向上と意識の高揚が図られたことが挙げられる。温かい雰囲気学級経営を行っていくことにより、子どもたちが楽しく感じる学校であると感じる。併せて、分ける授業づくり、児童の資質・能力の育成に向けた授業づくりが進んできたと言える。二つ目に、小中一貫教育のための準備が進んだことが挙げられる。来年度には、施設一体型の校舎での教育が始まるこの時期に、カリキュラム等9年間を見通した計画ができたこと、様々な取組により、小中の教職員が互いのことを知り、目標を共有しながら協働して取り組んでいこうとする意識が高まってきたことが感じられる。</p> <p>課題としては、一つ目に、児童の学習規律や礼儀、規範意識等が十分ではないことが挙げられる。中学校区の4校で共通するカリキュラム等を作成し、それに基づいて取り組みを進めてきたが、その場では理解し努力しようとするものが続いていることが難しい状況である。二つ目に、成果として感じられるが十分とは言えない小中一貫教育に向けた準備と社会に開かれた教育課程のための周知が挙げられる。学校と地域が目標を共有しているものの、具体的な姿にまでは至っていない。また、周知活動も進めてきたが、児童にも地域にも十分に伝わっていないところもあり、今後さらに取組を充実していく必要がある。</p>							
7 次年度への改善策							
<p>来年度、小中一貫教育のスタートを十分なものにしていくためには、課題の改善に向けた取組が必要である。</p> <p>一つ目は、児童の学習規律や礼儀、規範意識等を向上させるために、中学校と連携して年度初めからルールの徹底と行う意義をしっかりと伝えていく。今まで以上に乗り入れ授業等を充実させ、多くの教員が関わり、同じ視点で指導していく体制をつくっていく。そして、全校や学年が集まる場を利用して、自分たちの行動がどんな良いことにつながるかを話す場を設定していこうと考えている。</p> <p>二つ目は、小中一貫教育に向けた準備と社会に開かれた教育課程のための周知をさらに進めていくために、今後作成するものやお知らせ等を分かりやすい言葉で表現し、子どもたちにも分かるようにしていこうと考えている。特に児童に育成したい資質・能力は児童にも分かる形にできるように予定である。また、学校と地域が協働できる仕組みづくりや、地域の方が学校に入りやすい雰囲気になるような行事等を工夫していこうと考えている。そして、新校舎で小中が新たな教育活動を提供していくように努力したい。</p> <p>小中一貫教育というツールを最大限活用しながら、地域を好きになり、地域からも愛される児童の育成に向かって学校の取組を充実させていきたい。</p>							